

KIYOSE のひと

まちの減災ナース チーム KIYOSE 代表 高橋 明美 さん

信愛病院の医療安全管理者であり、日本災害看護学会認証「まちの減災ナース」指導者として活動する高橋明美さん。地域の「防災」や「減災」に対する意識を高める活動を紹介します。

看護師・災害支援ナース・防災士・公認心理師の資格を持ち、地域の防災・減災活動を牽引する「まちの減災ナース」として活動している高橋明美さん。大学病院の救命救急センター勤務や被災地支援の経験を通じて、災害は防ぐことができないからこそ、被害を最小限に抑える「減災」の重要性を実感し、地域での普及啓発を続けています。

高橋さんは、市内の地域包括支援センター、医療機関、福祉施設、自治会や地域のサロンなどと連携を図り、職員や住民向けの減災講座、イベントを開催。災害に強いコミュニティを目指すため、立場や世代を超えた自助・共助を高める支援として、健康教育の他、DIG（災害想像力ゲーム）による地図を用いた図上訓練、家庭での備えや避難方法の周知、防災用品の体験、非常食の試食会などを行い、地域住民が楽しみながら参加し、自分事として考えていける内容を伝えています。

また、高橋さんは、このような取り組みを通



令和8年（2026年）5月の清瀬市内のイベントにて。一番左が高橋明美さん。

じて、地域における顔の見える関係づくりや声掛け・見守りができるコミュニティは、災害時の要配慮者（高齢者、乳幼児や妊産婦、障害のある方、認知症のある方など）の支援において、力を発揮できるという視点も大切にしています。

「私自身も働きながら『今、地震が起きたら子どもは大丈夫だろうか』という不安が、いつも頭のどこかにありました。一人で抱え込まず、日頃から地域の人と顔の見える関係を少しずつ育てていくこと。私たちの活動がそのきっかけになればうれしいです」と高橋さん。

“誰かとつながっていると、きっと心強い”。そんな高橋さんの強い思いがこもった「まちの減災ナース チーム KIYOSE」。高橋さんたちと一緒に、清瀬のまちに減災の輪を広げていきましょう。

まちの減災ナース チームKIYOSE
machikiyo.gensai@gmail.com



清瀬市観光協会の

お
押し!



東京都指定無形民俗文化財「ふせぎ」

毎年5月3日に行われる下宿の「ふせぎ」は、江戸時代末期から続く伝統行事。村に疫病や災いが入ることを「ふせぐ」ために、円通寺へ通じる三叉路の大木に約20mの大きなわらの大蛇を掛けるものです。地域住民が力を合わせて編み上げた大蛇は大木にくくりつけられ、住職の読経とともに完成します。「ふせぎ」は東京都指定無形民俗文化財として保存会により大切に受け継がれており、大蛇は翌年の「ふせぎ」前まで大木にかかっています。今年の大蛇を見にぜひ足を運んでみてください。

more! KIYOSE vol.12

企画・発行：清瀬市シティプロモーション課
プロモーション係

発行月：2026年7月

問合せ：042-497-1808（直通）

本誌掲載内容の無断転載はご遠慮ください。
©2026 more! KIYOSE all rights reserved.



SDGs
未来都市
清瀬市
Kiyose City

清瀬市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



みんなの力で
大江戸線を清瀬市へ

あなたの声をお聞かせください

本誌へのご意見や感想、
気になる情報や見てみたい
企画を募集中！これまでの号
も合わせてぜひご覧ください！

ご回答は
LoGoフォームへ



バックナンバーは
こちら

